

令和8年度 政策討論会 第二分科会（第4回）要点記録

- ・テーマ … スポーツコミッションの設立について
- ・日時 … 2026 年 8 月 5 日（水）10 時から
- ・場所 … 第 1 委員会室
- ・会議時間 … 10：00～11：09
- ・出席者 … 米田 貴志（座長）
中岡 佐織（副座長）
昼馬 光一
殿本 マリ子
烏野 隆生
友永 修
京西 且哲
中井 良介 （座長、副座長以下は議席番号順）

・決定事項

（1）次回の討論内容について

- 市民（団体）へ、スポーツコミッション設立の必要性や参画、役割等について意向調査の件。
- 市長へ、スポーツコミッション設立の意向を正副座長で確認した内容を発表。

（2）次回開催予定

日時：令和8年10月6日（火） 午前10時から
場所：第2委員会室

（3）発言要旨

各議員の発言内容は別紙のとおり。

- 具体的な方向性を検討していくにあたり、地域スポーツコミッションの成功事例・失敗事例を調査し、本市で設立する場合の方向性や、事務局・リーディング役をどこが担うのか、また構成団体をどのようにするのかなどについて、それぞれ調べて持ち寄った。

米田座長

※米田の提出参考資料

- ①さいたまスポーツコミッションの法人カタログ
- ②さいたまスポーツコミッションの概要※米田作成

《米田発言要旨》

(1)さいたまスポーツコミッションを成功事例として紹介したいので、まずは、そのカタログを添付しているのでご覧頂きたい。

さいたま市で行なわれているもので、ビジョンとして「さいたま市とともに笑顔あふれる“日本一のスポーツ先進都市”を実現します」をテーマに掲げ、以下の事柄の実現をめざす。

- ①スポーツで地域経済を活性化するエンジンになります。
- ②「国際性」「先進性」「持続性」を備えたスポーツフロンティアを創出します。
- ③パートナー企業とともにスポーツ振興の取り組みを行ないます。

とされています。

また、それら実現へ向けて取組むプロジェクトなどの紹介がされています。特に掲載されている「スポーツシュール事業」が重要であります。この事業はスポーツ施設や宿泊・研修施設などをネットワーク化し、スポーツを「する場」「学ぶ場」「実証の場」として活用しながら、スポーツ人材育成とスポーツ産業・ビジネス創出、地域課題解決を図る包括的なまちづくりプロジェクトの事であり、個人的にはスポーツの持つ力を活かすインキュベータと私は捉えています。

また、別紙にはさいたまスポーツコミッションの概要、目的、事業内容、さいたま市における位置づけなどをピックアップしてあります。中でも、市における位置づけが重要ではないかと考える。さいたま市では、さいたまスポーツコミッションを、市総合振興計画の中で、スポーツを通じたまちづくりを実行する担い手の一つとして位置づけられている。

このことが大切であり、市の本気度が見られる。それがスポーツコミッションを取り巻く団体や民間などにも大きな影響を与え、可動域を広げる事になると考える。

加えて、もう一枚の別紙には、直近の経済効果などが掲載されているので紹介する。このさいたまスポーツコミッションは、自主独立であり、施設の管理運営も行ない、大

会誘致やイベントの創出などを行なっていて、国内で最も成功しているスポーツコミッションとして紹介させて頂いた。

事務局の必要性、受け入れ可能な施設、人材、産業界、商工会議所など、ループを描きながら、産業化を目指すことが必要になるのではないかな。

(2)では、きっかけとして、何から取組むべきなのか、本市で始められる競技などについて考えたい。余談ではあるが、過日、岸和田競輪場で自転車競技のインターハイが行なわれていた。全国から親兄弟はもとより、祖父母まで来場している。3階のフロアもいっぱいである。その殆どが岸和田市以外で宿泊している。当然、飲食など様々に経済効果がある。そう考えると、岸和田市として、この大会に絡んでいない事が非常に残念である。もし、本市にスポーツコミッションがあれば、状況も変わったのではないだろうか。また、働きかけができるのがスポーツコミッションだと考える。その事から、市長が「日本一のスポーツのまち」を目指すというならば、例えば受け入れられる施設の改善に繋げるべきではないだろうか。さいたまスポーツコミッションの事例ばかりで恐縮ではあるが、そこは野球からバスケ、バレーをはじめ施設が充実している。しかも運営管理もしている。本市においては、現時点では、その域まで求められないが、始めるにあたり、例えば、どのような競技を軸にスタートすべきか考えたい。

(3)個人的な見解ではあるが、民間の力を頂きながら成功している大会としては、BMXの大会ではないかと考える。組織主体の公式大会ではないが、ローカルレースとして開催される大会では、市内外事業者をはじめとして多くの事業者がスポンサーとして下さっている。漠然とした言い方にはなるが、あの様子は、一つのスポーツコミッションの形態と言えるのではないかと考える。

中岡副座長

①スポーツコミッションの設立においては、「リーディング役」の存在が最も重要な課題であると考えています。実際に大阪府にもスポーツコミッションがありますが、十分に機能していない要因の一つとして、中心となって牽引する役割が明確でないことが課題であると伺っています。

今回、皆さんにも本市のスポーツコミッションの構成団体など組織をブレストしやすいよう資料を作成しましたので、委員の皆さんにもご覧いただき、ご意見をいただきたいと思います。前回の宿題では、成功事例・失敗事例の調査に加え、構成団体についても検討をお願いしていました。

資料の左側は、地域スポーツコミッションの公式ホームページに掲載されている一般的な構成イメージです。右側は、それを参考に岸和田版として私が作成した案になります。

まず構成団体についてですが、スポーツ協会をはじめ、行政についてはスポーツ振興課だけでなく、産業振興、観光、新しい成長戦略など、スポーツをまちづくりや地域経済につなげる関係部署にも参画していただきたいと思います。

また、地域で活動している青年会議所（JC）、ライオンズクラブ、ロータリークラブ、岸和田シティプロモーション推進協議会（KCP）などのような、まちづくりに取り組む団体にも多数参加していただきたいと思います。

観光振興協会には旅行会社やホテルなど多くの観光関連事業者が所属しているため、その知見を活かしていただきたいと思います。

商工会議所については、多くの協議会で参画されていますが、青年部（YEG）が参加している事例は少ないように感じています。しかし、青年部は行動力やネットワークが非常に強いので、ぜひ構成団体に加わっていただきたいと思います。

さらに、競技場・体育館・プールなどの指定管理者にも初めから参画していただくことが重要です。私自身、サイクルピア岸和田で勤務していた経験から、行政が企画した事業を現場に持ち込んでも、施設の事情により実施できないケースを見てきました。現場との認識のずれをなくすためにも、指定管理者は初期段階から議論に参加していただくべきだと考えています。

大学については、地域スポーツコミッションの構成団体として一般的ですが、岸和田市には大学がありません。そのため、産業高校や、岸和田市と連携している大学などに参画いただき、教育機関としての視点を取り入れることができると考えています。

また、総合型地域スポーツクラブだけでなく、プロスポーツチームにも参画いただきたいと思います。近年はバレーボールなどのトップチームも岸和田を訪れており、競技団体や誘致活動の視点からも重要な存在です。

加えて、スポーツ協会に所属していないスポーツ団体、例えばモルックなどのニュースポーツ団体についても、意欲のある団体には積極的に参加していただきたいと思います。

事業内容については、インナー事業は地域スポーツコミッションの一般的な内容と大きく変わらないと考えています。一方で、アウター事業については「広報・情報発信」を特に重視すべきだと考えています。どれだけ良い取組を行っていても、外部への発信が十分でなければ効果は限定的です。

実際に徳島県スポーツコミッションでは、新聞社などのメディアが構成団体として参画しており、情報発信力の強化につながっています。岸和田でも、現在はワールドマスターズゲームズ関係でテレビ岸和田などに協力いただいておりますが、さらに認知度の高いメディアにも参画いただければと考えています。

さらに、医師会など医療関係者にも参加していただければと考えています。スポーツ大会では医師の配置が必要となる場合も多く、人材確保に苦勞することがあります。こうした関係機関にも初めから参画いただくことで、大会運営や受入体制の充実につながると考えています。

②参考までに、私自身がサイクルピア岸和田 BMX コースで事務局として担ってきた業務をスポーツコミッションですべき業務とかなり似ているのでご紹介します。

選手育成、クラブチームの運営、大会の誘致・企画・運営、各種イベントの企画・運営、ポスター・チラシ制作、SNS・ホームページ運営、雑誌・テレビ局への広報・営業活動、競技場・クラブハウス・カフェの運営、選手・関係者の宿泊サポート、選手のアルバイト機会の創出、スポンサー獲得支援、選手のセカンドキャリア支援、地域イベントへの参加・協力、福祉活動やボランティア活動への参加、幼稚園での自転車マナー教室や交通安全教育、自転車普及活動など、多岐にわたる業務をほぼ一人で事務局としてマネジメントしてきました。

実際に経験して感じたのは、スポーツを地域活性化につなげるためには、競技の運営だけではなく、広報、営業、受入体制づくり、人材確保、スポンサー対応など、幅広い業務を継続的に行う必要があるということです。

もちろん大変な仕事ではありましたが、予算を確保し、業務として取り組んだからこそ実現できたものであり、これをボランティアだけで担うことは現実的ではありません。

そのため、今回提案しているスポーツコミッションの組織図でも、中央に配置してい

る「リーディング役」が非常に重要だと考えています。構成団体が集まるだけでは組織は機能せず、それぞれをつなぎ、企画・調整・営業・広報・大会誘致などを継続的にマネジメントする専任の事務局機能が必要です。

スポーツコミッションを持続的に運営していくためには、この中心的な役割を担う組織や人材に対して、きちんと予算を確保し、「仕事」として担っていただく仕組みを整えることが不可欠であると考えています。

昼馬議員

スポーツコミッションを成功させるには まとめ上げる人材が必要で今思案中。

市として外部に誇れるスポーツは女子ソフト、剣道。人材としてアーチェリーでオリンピック出場の守屋君。

殿本議員

①スポーツコミッションを持続させるには、市や大手の会社や他団体が参加して収益をあげないと続かない。

②有名な選手が広告塔になれば競技も盛り上がります。また、いろんなスポーツをするにもお金が必要である。そのためにもスポンサーが必要である。

③競技をしても岸和田にはホテルや土産物を買うところがない。そういうところもスポーツコミッションをするにあたり考えていかなければならない。

烏野議員

中岡副座長の提供の資料からスポーツコミッションを実施するにあたり、様々な団体で組織を構成する中で、最も必要なことは中心的な事務局である。本市で大会やキャンプ誘致ができる施設は限られている。競輪場、総合体育館、浜グラウンドを基本にその施設で実施できる岸和田市が特化したスポーツをまずひとつ考え、また観光等にも結びつけること、その為にも各団体を取りまとめる中心的な事務局をつくる必要がある。

友永議員

・他市のスポーツコミッションについて、他の議員から話を聞かせていただいた。私からは、府内及び、近畿内の各コミッションについて意見を述べた。

各団体の構成組織の違いもあり、活動内容も様々であることがわかった。プロスポーツの組織が構成されているところなど、ノウハウだけでなく資金面でも大きく差があることを認識。また、その地域で特化した種目などを中心に進めているところなど、やることははっきりしているのではないかと感じる。やはり、岸和田市といえば「○

○」という種目が必要ではないかと考える。

- ・ 岸和田市内で開催されている、各種スポーツ大会への市の関わりなどが、ほぼ皆無であることが他の議員の意見を聞いて確認した。こういった大会等の運営主体に入るとは難しいが、その周辺ビジネス（会場外での物産販売や宿泊先など）で利益が見込めることができれば、参入する民間団体も増えることが想定できる。
- ・ 市長の本気度を確認するとのことなので、大いに期待します。

京西議員

前回説明を受けた「岸和田市スポーツ推進計画」は、スポーツを産業として捉え、活発な経済活動につなげる政策ではない。

本市の課題である財政構造の基盤強化のため、観光産業と共にスポーツの産業化を本市の重要政策に位置付けるべきである。

国（スポーツ庁）は、国際大会の国内誘致による経済活動を推進していることから、スポーツによるまちの活性化を掲げる本市は、同趣旨の活動を新たな成長戦略に位置付け、それを動かすための「スポーツコミッション」を設置する必要がある。

まずは、岸和田市役所が調整役を担い、市民をはじめ各団体の意見を広く聞く場を作らなければならない。

中井議員

スポーツ庁のHPをみながら岸和田でのスポーツコミッション（SC）の可能性について考えた。

SCの要件として4つあげている。

1. 組織一体性 市、スポーツ団体、民間企業（商工、観光、スポーツ、大学等の団体）などが一体として活動
2. 常設組織であること
3. 域外交流活動を主要な事業と位置づけ、まちづくり・地域活性化をはかること
4. 広範通年活動であって、単発のイベントでなく年間を通じた活動

1については中岡さんが図示してくれ、議論の進展にやくだった。

なお、部活動の指導者などボランティアで子どもたちを指導している人たちのスポーツ観などにも配慮、よく話し合いが必要かなと思われる。好意的に受け止めてくれると思うが。